

所属研究団体日本遺伝学会 令和6年度 事業計画書

事業計画の概要

本会は遺伝に関する研究を奨め、その知識の普及をはかるため、下記諸事業を計画する。

1. 学会誌Genes & Genetic Systemsの発行
 - (1) issueを廃止し、出版準備が整った論文から順次オンライン発行する。
 - (2) すぐれた論文を発表した著者にGGs PRIZE 2024を授与する。
 - (3) 科研費（国際情報発信強化B）の2025年度以降の申請をする。
2. 年次大会の開催(第96回大会を高知工科大学永国寺キャンパスにて開催)
 - (1) 学会員を対象とした一般口頭発表および学生会員を対象としたポスター発表を開催する。
 - (2) 海外（主にオーストラリア）より研究者を招聘し国際シンポジウムを開催する。
 - (3) 公募による特定のテーマでのワークショップを開催する。
 - (4) シニア活性化幹事によるワークショップを開催する。
 - (5) 総会を大会最終日に行う。
 - (6) 大会で発表する学生の大会参加旅費の一部を援助する。
 - (7) 男女共同参画推進の一環として大会へ参加するための支援を行う。
 - (8) 第95回大会Best Paper賞受賞者によるプレナリーワークショップを開催する。
 - (9) 一般口頭発表者から優れた成果を発表した者をBest Paper賞候補者として選考する。
 - (10) ポスター発表者（学部学生、修士課程の学生）からすぐれた発表を行った者にポスター賞（Young Best Poster賞）を授与する。
 - (11) 台湾(Academia Sinica)及びオーストラレーシアから学生若干名を招聘し、大会での口頭発表や議論を通じて国際交流をはかる。また、大会後の日本人研究者への研究室訪問の支援を行う。
 - (12) 市民公開講座を最終日に開催する。
3. 春季分科会
会員、非会員によるポスター発表を開催する。
4. 木原賞・奨励賞の授与
 - (1) 遺伝学の分野で特に顕著な業績をあげた会員に木原賞を授与する。
 - (2) 遺伝学の特定の分野で優れた研究を活発に行い、将来の成果が期待される会員に奨励賞を授与する。
5. 遺伝学談話会の開催
各地区の会員の交流を目的に遺伝学談話会を開催する。第22回は開催地未定。
6. 中学・高等学校などへのオンライン講師派遣事業
遺伝学に関する講演、授業などを必要とする中学・高等学校や、最新の遺伝学の講演会、講習を必要とする中学・高等学校の教師の集まりを対象とし、目的に応じたその分野の専門の学会員がzoomなどのオンラインで講演や授業を行う。
7. 委員会の活動等

- (1) 遺伝学教育用語検討委員会
引き続き遺伝学教育用語を検討。
- (2) 男女共同参画推進委員会
本学会は男女共同参画推進学協会連絡会に加盟している。
年次大会中に大会へ参加するための支援を行う、また、ランチョンセミナーを開催する。
- (3) 遺伝学普及・教育担当委員会
オンライン講師派遣事業を行う。
- (4) 将来計画委員会
国際遺伝学会に対する日本遺伝学会の貢献について検討する。
- (5) 生物科学学会連合
本学会は「生物科学」の健全な発展のために各学協会と協力し活動を行っている。
- (6) 自然史学会連合
本学会は自然史科学の研究・教育の振興を目的として、動物学・植物学・地学など主に基礎的な野外研究に関連する学会と協力して、幅広い活動を進めている。
- (7) 編集委員会
引き続き国際的編集体制をさらに強化し、オーストラレーシア（オーストラリア・ニュージーランド・アジア太平洋地域）遺伝学会と連携してさらに良質の遺伝学関連論文を呼び込み、質の高い掲載論文を増やす。流行に影響されない高品位な遺伝学分野の学術雑誌を自立出版する体制の確立を目指す。
- (8) 遺伝学若手の会の活動を強化し、若手の勧誘及び遺伝学啓蒙を推進する。

別添資料 I

2024 年度予算案

A 収入

(単位円)

摘要	決算
1. 学会費	4,400,000
2. 賛助会費	140,000
3. 科学研究費補助金	3,900,000
4. 事業収入	3,990,100
掲載料	3,990,000
利息	100
5. 雑収入	130,000
小計	12,560,100

B 支出

(単位円)

摘要	決算
1. 事業費	5,380,000
雑誌製作費	2,900,000
大会補助費	1,000,000
学術集会事業費 (遺伝学談話会補助費)	300,000
大会学生旅費補助	800,000
協力委員会分担金	80,000
若手の会補助費 (遺伝学談話会補助費)	300,000
2. 評議委員会／幹事会 費/委員会費	440,000
3 事務費	3,840,000
雑誌発送費	40,000
編集経費	2,900,000
事務局経費	900,000
4. 学会賞関係費	400,000
5. 謝金	1,300,000
6. 特別事業費	1,200,100
国際シンポジウム	1,000,000
その他	200,100
小計	12,560,100